

2026年1月13日

木材業景況調査結果

第496回（令和7年12月分）

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

12月は、販売量・仕入量については、流通部門では減少、製造部門では変わらなかった。また、販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。

1月は、販売量・仕入量については、流通部門・製造部門とも減少の見通し、また、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材については、流通部門では保ち合い、製造部門では強含み予想、南洋材については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通し、北洋材（欧州材を含む）については、流通部門では強含み、製造部門では保ち合いの見通し、国産材については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。また、建材は保ち合い予想である。

12月のプレカット工場の稼働状況は、ビルダー及び大手ハウスメーカーを中心に、11月よりも忙しくなっている。年明け以降も、この状況は継続する見込み。また、12月以降、これまで動きが鈍かった地域工務店等その他施工業者向けの物件についても徐々に動きが見られ始めており、年明けに向けて期待できる状況となってきているが、運賃をはじめとする経費の上昇で採算面においては依然として厳しい状況が続いている。

景況調査

令和7年12月分集計表 () 内は実数

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加 22% (19)	変わらず 46% (40)	減少 32% (28)
仕入量	増加 18% (16)	変わらず 53% (46)	減少 29% (25)
販売価格	上昇 5% (4)	変わらず 92% (80)	下降 3% (-3)
仕入価格	上昇 14% (12)	変わらず 84% (73)	下降 2% (-2)

来月の見通し

販売量	増加 16% (14)	変わらず 53% (46)	減少 31% (27)
仕入量	増加 17% (15)	変わらず 52% (45)	減少 31% (27)
販売価格	強含み 7% (6)	保ち合い 92% (80)	弱含み 1% (-1)
仕入価格	強含み 15% (13)	保ち合い 84% (73)	弱含み 1% (-1)

3カ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	16% (9)	70% (40)	14% (-8)
南洋材	14% (6)	81% (35)	5% (-2)
北洋材(欧州材を含む)	26% (13)	64% (32)	10% (-5)
国産材	11% (8)	82% (60)	7% (-5)
建材	21% (11)	72% (38)	8% (-4)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	37% (20)	57% (31)	6% (-3)

〔製造部門〕

モニター数 132 回答数 72 回収率 55%

当月の状況

販売量	増加 16% (11)	変わらず 67% (46)	減少 17% (12)
仕入量	増加 17% (12)	変わらず 67% (46)	減少 16% (11)
販売価格	上昇 6% (4)	変わらず 94% (65)	下降 0% (-0)
仕入価格	上昇 16% (11)	変わらず 83% (57)	下降 1% (-1)

来月の見通し

販売量	増加 14% (10)	変わらず 62% (44)	減少 24% (17)
仕入量	増加 10% (7)	変わらず 68% (48)	減少 23% (16)
販売価格	強含み 10% (7)	保ち合い 90% (64)	弱含み 0% (-0)
仕入価格	強含み 10% (7)	保ち合い 90% (64)	弱含み 0% (-0)

3カ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	32% (8)	60% (15)	8% (-2)
南洋材	19% (3)	81% (13)	0% (-0)
北洋材(欧州材を含む)	26% (5)	74% (14)	0% (-0)
国産材	16% (10)	66% (42)	19% (12)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	42% (13)	48% (15)	10% (-3)